

障がい者スポーツ共生型社会実現による レガシー構築2020年報告書

【2020年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業】



(2020年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)

smile club
surroundings where everyone can easily enjoy sports
SINCE 2000

2021年3月

NPO法人スマイルクラブ

もくじ

はじめに (1)

本事業概要 (2)

本事業実績 (3)

実績報告

別紙 1 (参加実績一覧) (4)

別紙 2 (各説明資料) (7)

別紙 3 (アンケート) (9)

別紙 4 (マスコミ関連) (11)

別紙 5 (出前授業風景) (13)

スマイルクラブ概要 (16)

はじめに

スマイルクラブのWAM助成事業は、今年度（2020年度）で3年目となります。今まで多くの関係者、ボランティアの方々のご協力により、なんとか3年目を迎えることができました。

しかし2020年は、新型コロナウイルス感染症により多くのイベントの中止や延期をとまいました。そのような中、パラバドミントン出前授業については全国の学校からたくさんの要望があり、対応しきれない状況でした。つまり、このコロナにより学校行事等がほとんどできない状況の中、この事業への要望が高まってきたものと考えております。

一方で、このコロナ感染症のなか事業推進にあたり多くの学ぶべき点もありました。特に感染症予防のためのPCR検査、マスク着用、アルコール消毒など様々な対策がもとめられ、さらには「三密回避」のために参加者の大幅な削減など、今までにない取り組みが求められた事業でもありました。そういう面では新たな挑戦にも取り組むことができ、単に障がい者スポーツを通じて共生社会の実現ということから、新たな広がりを持った事業として成長することもできました。

さらにはこの事業の後半で大学生ボランティアの協力や、オンラインによるパラバドミントン出前授業の試行にも挑戦できたことは、新たな事業の芽となるものを感じることもできました。これもこの事業を3年間継続してきたおかげと関係者の皆様に感謝しております。

またコロナの影響で、急遽延期となった東京オリンピック・パラリンピックはもちろんのこと、この事業でパラバドミントン出前授業等を予定していたにもかかわらず中止となった学校や自治体においては、ぜひ次年度以降へ期待したいものと考えております。

そして、なによりこのような活動（WAM助成事業）が、将来の共生社会実現に向けての確かな一歩につながることを願い、今後も前進していきたいと思っておりますので、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に各自治体、スポーツあるいは障がい者支援団体や組織の方々には大変お世話になりました。この報告書にてお礼をさせていただきたいと存じます。ありがとうございました。

2021年3月
NPO法人スマイルクラブ
理事長 大浜 あつ子

本事業概要

- 1 事業名：「障がい者スポーツ共生型社会実現によるレガシー構築2020年」
- 2 事業概要：

2018年度からパラバドミントンによる共生型社会実現事業を実施してきた。

2020年度は東京オリンピック・パラリンピックも開催される年でもあり、3年目の区切りとしてレガシー構築にもつなげる事業を推進し、共生社会実現を目指す。
- 3 内容：
 - 1) パラバドミントン出前授業
 - 2) パラバドミントン+バドミントン大会の開催（インクルーシブイベント）
- 4 主催等

（主催）NPO法人スマイルクラブ

（共催）山口県障害者スポーツ協会、柏市障がい者スポーツ推進連絡会

（後援）山口県、富山県障害者スポーツ協会、石川県障害者スポーツ協会
山口県バドミントン協会、広島県障害者スポーツ協会

（連携）山口県教育庁学校安全・体育課

（協力）山口市バドミントン協会、広島市心身障害者福祉センター、流通経済大学
- 5 事業内容：
 - 1) 障がい者スポーツ出前授業（パラバドミントン）
 - ①目的：小学校、中学生、高校生等を対象に、パラバドミントンを通じて障がい者への理解促進をはかる
 - ②日時・場所（別紙1参照）
 - ③内容：パラバドミントン日本代表クラス選手による出前授業
（競技説明を受けることと、実際に生徒が競技用車いすに乗って、選手と一緒にバドミントンをする体験）
 - 2) パラバドミントン+バドミントン大会の開催（インクルーシブイベント）

※パラバドミントン+バドミントン大会については、新型コロナウイルス感染症のため中止

本事業実績

1 本事業参加者数実績

- 1) 柱立て1 障がい者スポーツ出前授業（パラバドミントン）
 - ①目標 学校数18校、参加者数1,800名（詳細は参加実績一覧参照）
 - ②実績 学校数実績20校（達成率111%） 参加者数1,703名（達成率95%）
※新型コロナウイルス感染症予防（三密回避）のため参加人数減。
- 2) 柱立て2 障がい者スポーツ大会の開催（同上）
 - ①目標 参加者350名
 - ②実績0名 ※新型コロナウイルス感染症により、大会中止のため。
- 3) 柱立て3 事務局の設置
 - ①目標 1年間
 - ②実績 1年間（達成率100%）

2 成果

- 1) 支援対象者：小学校、中学校、高校、大学まで幅広い対象となった。（別紙1）
ただし新型コロナウイルス感染症により、特別支援学校（大分県等）の出前授業が中止となり、特別支援学校については実施ができなかった。
- 2) 関係機関について：共催2件、後援5件、協力等4件
- 3) 地域・社会との連携について： 下記地域等（詳細は別紙1）
多くの地域（山口県、広島県、石川県、千葉県、茨城県の5県）と組織（障害福祉課、障がい者スポーツ協会等）と連携実績。
一方で新型コロナウイルス感染症にともなう中止（岡山県、大分県、山梨県、岩手県、青森県等）の県も存在
- 4) パラバドミントン説明資料作成と配布（別紙2）
- 5) 満足度（アンケート分析）（別紙3）
 - ①対象者1,703名に対し、回収1,210名で抽出率71%
 - ②満足度 90%以上（良かったと非常に良かったの合計）
- 6) マスコミ掲載（別紙4）
 - ①テレビ 3社
 - ②新聞 9社 計12社
- 7) 出前授業風景（別紙5）

	日時・場所	内容、講師等 (敬称略、順不同)	参加者数	備考	
1	2020年 9月26日(土) 茨城県つくば市 東光台体育館	【内容】 パラバドミントン 出前授業 【講師】 大浜真	一般 12名	【協力】 筑波大学	
2	2020年 10月7日(水) 千葉県柏市立 高田小学校	【内容】 パラバドミントン 出前授業 【講師】 大浜真 坂口忠義	小学生 106名	【共催】 柏市障がい者 スポーツ推進 連絡会	
3	2020年 10月13日(火) 千葉県柏市立 柏第四中学校		中学生 114名		
4	2020年 10月14日(水) 千葉県柏市立 酒井根西小学校		小学生 45名		
5	2020年 10月21日(水) 千葉県柏市立 酒井根小学校		小学生 116名		
6	2020年 10月23日(金) 千葉県柏市立 第六小学校		小学生 83名		
7	2020年 10月29日(木) 山口県山口市立 阿知須中学校		中学生 82名		【共催】 山口県障害者 スポーツ協会 【後援】 山口県

	日時・場所	内容、講師等 (敬称略、順不同)	参加者数	備考
8	2020年 10月30日(金) 千葉県八街市立 実住小学校	【内容】 パラバドミントン 出前授業	小学生 108名	【協力】 千葉県
9	2020年 11月5日(木) 山口県山口市立 小郡中学校	【講師】 大浜真 坂口忠義	中学生 80名	【共催】 山口県障害者 スポーツ協会 【後援】 山口県
10	2020年 11月8日(日) 茨城県つくば市 東光台体育館	【内容】 パラバドミントン 出前授業 【講師】 大浜真	一般 12名	【協力】 筑波大学
11	2020年 11月12日(木) 石川県金沢市 金沢星稜大学	【内容】 パラバドミントン 出前授業 【講師】 大浜真 坂口忠義	大学生 120名	【後援】 石川県 障害者スポーツ 協会 富山県 障害者スポーツ 協会
12	2020年 11月17日(火) 千葉県柏市立 土南部小学校	【講師】 大浜真 坂口忠義	小学生 127名	【共催】 柏市障がい者 スポーツ推進 連絡会
13	2020年 11月20日(金) 広島県立 高陽東高等学校	【内容】 パラバドミントン 出前授業 【講師】 大浜真 坂口忠義 安藤裕一 (ドーピング)	高校生 60名	【後援】 広島県 障害者スポーツ 協会 【協力】 広島市心身 障害者 福祉センター

	日時・場所	内容、講師等 (敬称略、順不同)	参加者数	備考
14	2020年 11月25日(水) 千葉県船橋市立 小室小学校	【内容】 パラバドミントン 出前授業	小学生 43名	【協力】 千葉県
15	2020年 11月30日(水) 千葉県柏市立 手賀中学校	【講師】 大浜真 坂口忠義	中学生 90名	【共催】 柏市障がい者 スポーツ推進 連絡会
16	2020年 12月7日(月) 山口県立 西京高等学校	【内容】 パラバドミントン 出前授業	高校生 40名	【共催】 山口県障害者 スポーツ協会
17	2020年 12月8日(火) 山口県防府市立 玉祖小学校	【講師】 大浜真 坂口忠義 安藤裕一 (ドーピング)	小学生 60名	【連携】 山口県
18	2020年 12月16日(水) 千葉県柏市立 土小学校	【内容】 パラバドミントン 出前授業	小学生 56名	【共催】 柏市障がい者 スポーツ推進 連絡会
19	2020年 12月17日(木) 千葉県柏市立 松葉第二小学校	【講師】 大浜真 坂口忠義	小学生 107名	
20	2021年 2月25日(木) 千葉県流山市立 小山小学校	【内容】 オンラインによる パラバドミントン 出前授業 【講師】 大浜真	小学生 242名	

計 1,703名

別紙 2 - 1 パラバドミントン説明資料 (抜粋)

「パラバドミントン」説明資料





(2020年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)

NPO法人 スマイルクラブ



【パラバドミントン競技説明】

パラバドミントンってどんな競技??

パラバドミントンには大きく「車いす」と「立位」の2カテゴリがあり、車いすが2クラス、立位が4クラスにわかれています!

車いす



立位

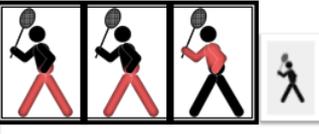


障がいの度合いや種類によって、6クラスに分かれます

上肢障がい、下肢障がい、低身長といった障がいの種類と度合いによりクラスが分かれ、クラスによってコートの広さが変わります!



WH1 重い ← WH2 軽い



SL3 重い ← SL4 軽い SU5 SH6

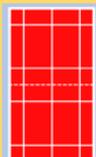
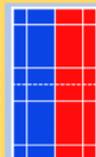
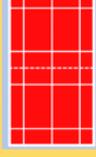
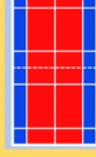
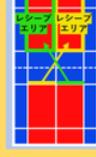
車いすカテゴリ		立位カテゴリ (立ってプレー)		
下肢障がい		下肢障がい	上肢	低身長
車いすでプレー			障がい	

2

【コートについて】

クラスによるコート面積の違い

上肢障がい、下肢障がい、低身長といった障がいの種類と度合いによってクラスが分かれ、クラスによってコート面積が変更されます。

	ダブルス		シングルス	
	プレー時インエリア	サーブ時インエリア	プレー時インエリア	サーブ時インエリア
車いす				
立位				
				

■ アウトエリア ■ インエリア ■ コート外

3

【オリンピック競技との違いについて】

- 1 障がいの程度に応じて6クラス制に分かれている!
- 2 車いす使用のシングルスはコート半面を使用!
- 3 シャトルを打つ瞬間は胴体の一部が車いすシートに接していなければならない! 車いす使用のシングルスはコート半面を使用!

参照 東京都オリンピック・パラリンピック準備局 ホームページより
<https://www.2020games.metro.tokyo.jp/index.html>




【2019年度スマイルクラブでのWAM助成活動風景】




2020年2月鹿児島ラサル学園にて 2019年12月東京都立城北特別支援学校

4

別紙 2 - 2 ドーピング説明資料 (抜粋)

「ドーピング」説明資料



(2020年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)

NPO法人 スマイルクラブ

(監修 安藤裕一：スポーツドクター)



ドーピング

について考えよう

ドーピングとは

ドーピングとは、競技力を高めるために薬物などを使用したり、それらの使用を隠したりする行為

ドーピングはなぜ悪いか？

- (1) フェアプレーの精神に反する
- (2) 競技者の健康を害する
- (3) 反社会的行為である

スポーツの価値を損なう

1

金メダルより重要なもの

室伏広治選手 アテネ・オリンピック ハンマー投げ金メダリスト

「メダルの色はいろいろありますが、本当に重要なのはそこに向けて努力していくことじゃないかと思います。
....金メダルよりも、重要なものが他にもたくさんある」

友情を保ちながら互いに切磋琢磨
> ルールを破っては友情を保てない

「1位」 VS 「チャンピオン」

「1位」になるとは、単にゴールのテープを一番先に切るということ
「チャンピオン」は自分の人間性と身体的能力に対して尊敬される



ドーピングなどアンフェアな方法で有利に立つことなく、フェアプレーの精神で相手とルールを尊重し戦わなければならない自身の行動を極めて頂点に立ち、同世代のロールモデルになれる時、真のチャンピオンになれる

ジャック・ロゲ
第8代 IOC 会長

「チャンピオン」を目指そう

3



今朝、会議に出席するため、地下鉄に乗っていました。電車を乗り換えようとしてホームを歩いていたら、声をかけていただきました。
まだ、身長が140センチ程度の小学生の男の子でした。

河合純一氏
日本パラリンピック委員会委員長

自分が下車する役（駅）では無いのに、改札まで案内をしてくれました！毎日使うような役（駅）ではないので、本当に助かりました。

本当にありがとうございました。
日本の未来は、明るいな！
そう強く思いました。

認知	尊重
判断	寛容
行動	勇気

スポーツ → 人として スポーツの価値

治療で薬が必要な時

治療上必要であり、他に治療法がなく、使用しても競技力を高めないものは使用が可能

ただし申請が必要な場合もある
TUE (Therapeutic Use Exemption : 治療使用特例)

「専門家」に相談を

スポーツドクター、スポーツファーマシスト、JADAも相談に応じてくれる

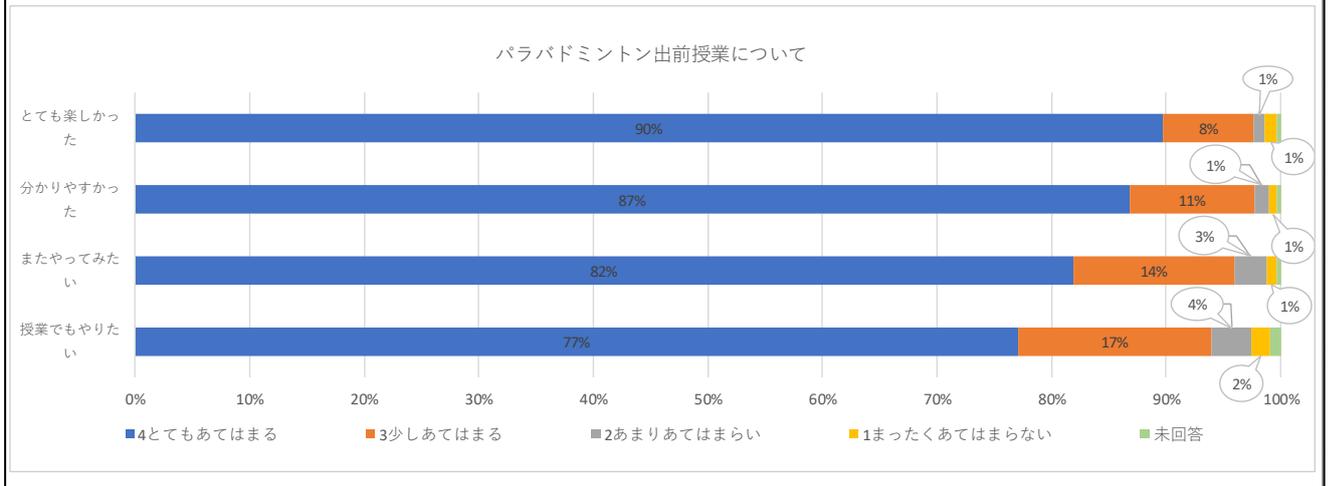
4

柏市内の学校アンケート結果（抜粋）

1.パラバドミントンについて

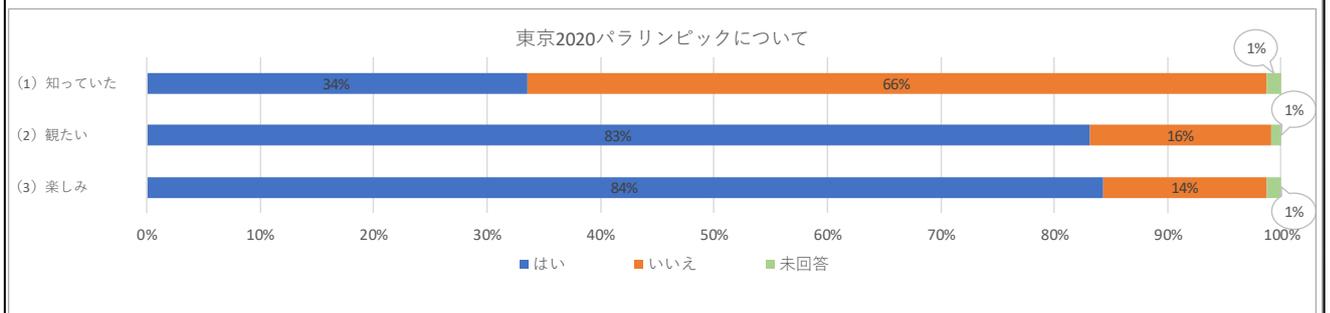
4-とてもあてはまる 3-少しあてはまる 2-あまりあてはまらない 1-まったくあてはまらない

	4			3			2			1			未回答			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
(1) 実施してみて、とても楽しかった	362	347	709	34	28	62	2	6	8	7	1	8	1	2	3	406	384	790
(2) 講師の教え方がとても分かりやすかった	350	336	686	44	42	86	6	4	10	5		5	1	2	3	406	384	790
(3) パラバドミントンをまたやってみたい	327	320	647	61	50	111	11	11	22	6	1	7	1	2	3	406	384	790
(4) 授業でもパラバドミントンをやりたい	311	298	609	65	68	133	16	12	28	10	3	13	4	3	7	406	384	790



2.東京パラリンピックについて

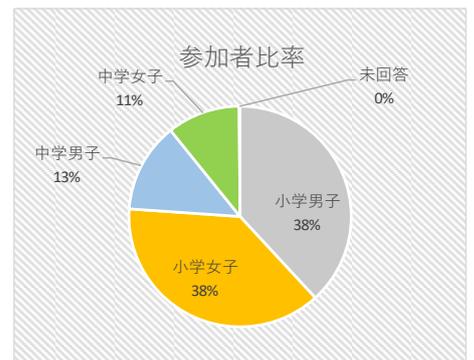
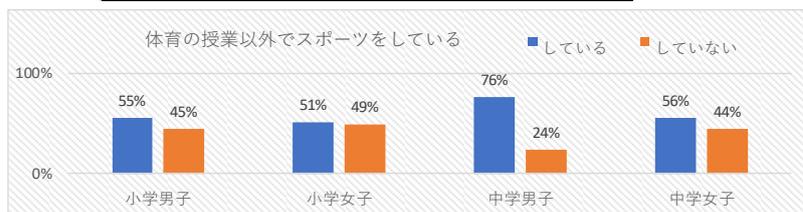
	はい			いいえ			未回答			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
(1) 車いすバドミントンが正式種目と知っていた	138	128	266	265	253	518	3	3	6	406	384	790
(2) パラリンピックを観てみたい	332	325	657	71	55	126	3	4	7	406	384	790
(3) パラリンピックが楽しみのになった	336	330	666	66	48	114	4	6	10	406	384	790



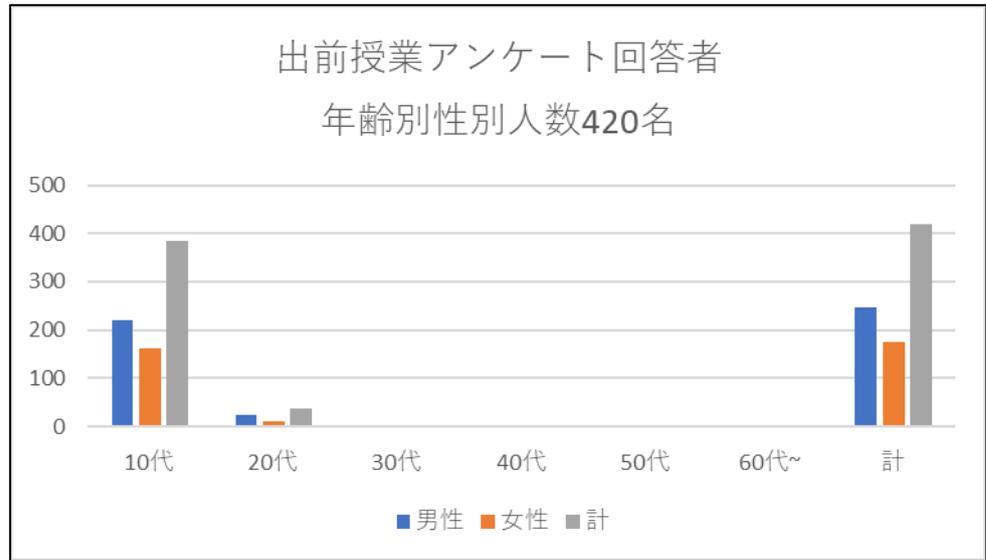
3.その他

参加者比率

(1) 性別	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子	未回答	合計
	302	300	104	84	1	791

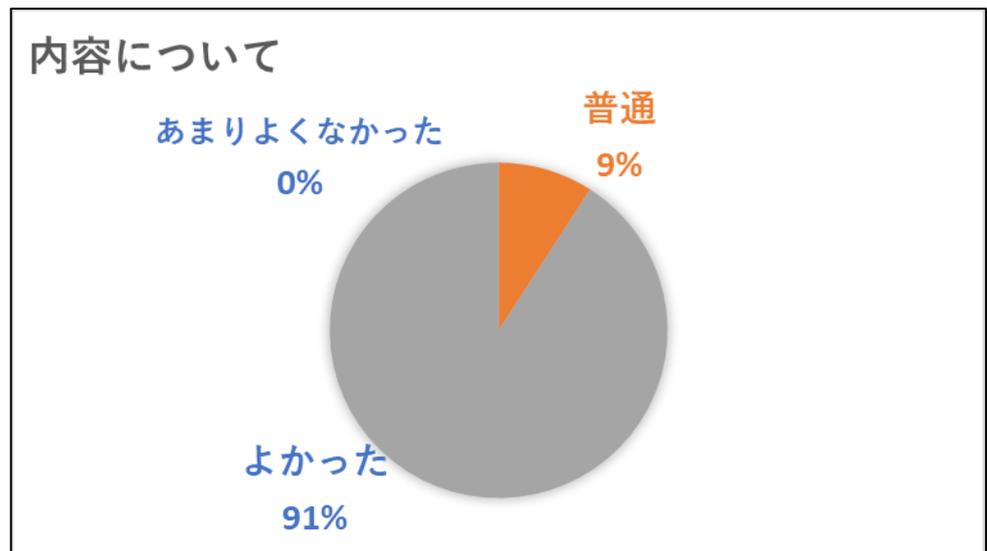


柏市外の学校アンケート結果（抜粋）



年齢、性別人数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代~	計	(%)
男性	221	25				1	247	59%
女性	163	11					174	41%
計	384	36	0	0	0	1	420	100%
(%)	91.4%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	100.2%	



内容について

	あまりよくなかった	普通	よかった	計	(%)
男性		22	223	245	59%
女性		16	156	172	41%
計	0	38	379	417	100%
(%)	0%	9%	91%	100%	

1 掲載リスト 下記12件

	月日	学校名	マスコミ名
1	10月7日	千葉県柏市立高田小学校	NHKテレビ
2	10月8日	千葉県柏市立高田小学校	千葉日報
3	10月29日	山口県山口市立阿知須中	KRYテレビ
4	11月6日	山口県山口市立小郡中	山口新聞
5	11月16日	山口県山口市立阿知須中	読売新聞
6	11月21日	広島県立高陽東高校	中国新聞
7	11月27日	千葉県船橋市立小室小学校	千葉日報
8	12月8日	山口県立西京高校	宇部日報
9	12月8日	山口県立西京高校	朝日新聞
10	12月8日	山口県立西京高校	NHKニュース
11	12月10日	千葉県船橋市立小室小学校	千葉日報
12	12月11日	山口県防府市立玉祖小学校	ほうふ日報

2 抜粋記事

2020年11月6日 山口新聞



2020年12月8日 宇部日報



2020年11月21日 中国新聞



- 1 2020年10月7日 NHKニュース（首都圏ネットワーク）
千葉県柏市立高田小学校（画面をスマイルクラブで撮影したものとなります）



- 2 2020年10月29日 KRYニュース（山口県山口市立阿知須中学校）
（画面をスマイルクラブで撮影したものとなります）



- 1 日時／2020年10月30日（金）
- 2 場所／千葉県八街市立実住小学校
- 3 講師／大浜 真、坂口 忠義
- 4 参加者数／108名
- 5 内容
 - 1) パラバドミントンのルール説明
 - 2) カテゴリーの説明
 - 3) 自分の障がいの状態について
 - 4) 見本打ち
 - 5) 車いす乗車体験
 - 6) 車いすに乗ってのパラバドミントン体験
 - 7) 大浜選手と対決
 - 8) 質問コーナー



- 1 日時／2020年11月12日（木）
- 2 場所／石川県金沢市 金沢星稜大学
- 3 講師／大浜 真、坂口 忠義
- 4 参加者数／120名
- 5 内容
 - 1) パラバドミントンのルール説明
 - 2) カテゴリーの説明
 - 3) 自分の障がいの状態について
 - 4) 見本打ち
 - 5) 車いす乗車体験
 - 6) 車いすに乗ってのパラバドミントン体験



- 1 日時/2020年11月20日(金)
- 2 場所/広島県立高陽東高等学校
- 3 講師/大浜 真、坂口 忠義、安藤裕一
- 4 参加者数/60名
- 5 内容
 - 1) パラバドミントンのルール説明
 - 2) カテゴリーの説明
 - 3) 自分の障がいの状態について
 - 4) 見本打ち
 - 5) 車いす乗車体験
 - 6) 車いすに乗ってのパラバドミントン体験
 - 7) 大浜選手と対決
 - 8) ドーピングについて



スマイルクラブ概要

【沿革】

- ・1998年 任意団体として発達障がい児の教室を開催
- ・2000年 NPOとして認証
(総合型地域スポーツクラブとして)
発達障がい児の健康福祉支援教室「運動が苦手な子の教室」と「バレーボール教室」でスタート
- ・2005年 茨城支部（水戸市）設立
- ・2006年 第1回アジアワークショップ開催（北京市）
柏市協働事業「学校体育授業サポート（主に特別支援学級）」スタート
- ・2009年 第2回アジアワークショップ開催（千葉県柏市）
- ・2010年 横浜市内作業所運動指導スタート
(横浜市委託事業)
- ・2011年 熊本支部（熊本市内）設立
- ・2014年 山口支部（山口市内）設立
- ・2015年 放課後デイサービス事業スタート（1号店）
- ・2016年 放課後デイサービス事業スタート（2号店）

現在にいたる

【主な活動内容】

1. アダプトッドスポーツ（障がい者スポーツ）
 - 1) 発達障がい児も参加できる
「運動が苦手な子の教室」（児童）
「チャレンジスポーツ教室」（高校生以上、社会人）
 - 2) 障がい者スポーツイベント（パラスポーツ含む）
IDバレーボール大会（知的障がい者バレーボール大会）
フロアバレーボール大会（視覚障がい者）
デフバレーボール大会（聴覚障がい者）
シッティングバレーボール大会（パラリンピック種目）
パラバドミントン出前授業等
2. 放課後デイサービス事業
障がい児の個別運動指導「スマイルスポーツ塾」
3. スポーツ教室
バレーボール、バスケットボール、
バドミントンの教室や講習会等
4. 地域との連携
 - 1) 柏市協働事業「学校体育授業サポート」
(主に特別支援学級の体育)
 - 2) 「障がい者スポーツ推進」事業（文科省委託事業）
(柏市障がい者スポーツ推進連絡会)
5. シニアスポーツ（高齢者）準備中
軽スポーツ、心臓リハビリ運動教室、
介護・認知予防イベント等

【主な受賞歴】

- ◆2008年 読売新聞「読売福祉文化賞」受賞
発達障がい児の運動教室「運動苦手な子の教室」の実績による、新時代にふさわしい福祉活動に取り組んでいる活動が評価された。
- ◆2010年「かめのり賞」受賞
アジアワークショップなどアジア（日本、韓国、中国、タイ）における障がい者スポーツにかかわる活動が評価された。
- ◆2010年 Amway「one by one アワード」受賞
「運動が苦手な子の教室」を通じて、子どもたちの生活向上支援として新たな可能性を見出したことが評価された。
- ◆2012年 第一生命「保健文化賞」受賞
日本の総合型地域スポーツクラブとしてはじめての受賞。障がい者も健常者も身近にスポーツを楽しめる環境づくりや、ボランティアの養成、アジアへのネットワークの構築などが評価された。皇居にて、天皇皇后両陛下のご拝謁も賜る。
- ◆2012年 博報堂「博報賞」および文部科学大臣奨励賞を受賞
特別支援教育部門においての受賞。「運動が苦手な子の教室」の活動が評価される。
- ◆2013年 社会貢献支援財団「社会貢献者表彰」受賞
社会福祉や青少年育成などへの表彰で、スマイルクラブのNPOとしての様々な活動が評価される。
- ◆2015年 Googleインパクトチャレンジ賞受賞
障がい者も高齢者も笑顔で住める街「スマイルタウン」を目指し、モバイルジムを提案し、受賞につながる。
- ◆2017年 千葉県生涯スポーツ優良団体受賞

【主な助成金事業・委託事業等】

◆2015年

- ・「スマイルクラブチャレンジ！スポーツ交流体験会キャラバン山口」ほか、子ども夢基金
- ・「バレーボールスマイルリーグ」ほか、toto助成
- ・「発達障がい児の運動指導に携わるスポーツボランティアの育成事業」日本財団
- ・「高齢者のための介護予防モバイルジム」Google

◆2016年

- ・「オリンピックレガシー構築に向けた『障がい者スポーツボランティア養成』モデル事業」年賀寄附金
- ・「発達障がい児が運動をするための環境づくり及びスポーツボランティアの養成事業」日本財団

◆2017年

- ・「アジアの障がい児の社会的自立支援」に向けた日中二国間での運動による障がい児の社会的自立支援プログラムの構築」トヨタ財団
- ・「障がい児のための熊本復興支援スポーツイベント」年賀寄付金

◆2018年

- ・「NPOによる小学校体育授業サポートにおける10年間の教育評価について」日本教育公務員弘済会
- ・「パラバドミントンによる共生型社会実現事業」WAM

◆2019年

- ・「発展的障がい者スポーツ共生型社会実現2019年事業」WAM
- ・「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」委託事業 文科省

◆2020年

- ・「発障がい者スポーツ共生型社会実現によるレガシー構築2020年」WAM
- ・「障害者スポーツ推進プロジェクト」委託事業 スポーツ庁
- ・「健康寿命延伸のための人生100年構想スポーツプロジェクト事業」年賀寄付金

【主な教室の指導風景】

(集団指導)
苦手教室



(個別指導)
スポーツ塾



(バレーボール等)
スポーツ教室





2020年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



Homepage

NPO法人スマイルクラブ

<http://smile-club-npo.jp/>

E-mail

smile-c@jcom.home.ne.jp



〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29

TEL 04-7169-4183 FAX04-7169-3303

編集・発行 NPO法人スマイルクラブ 2021年3月

